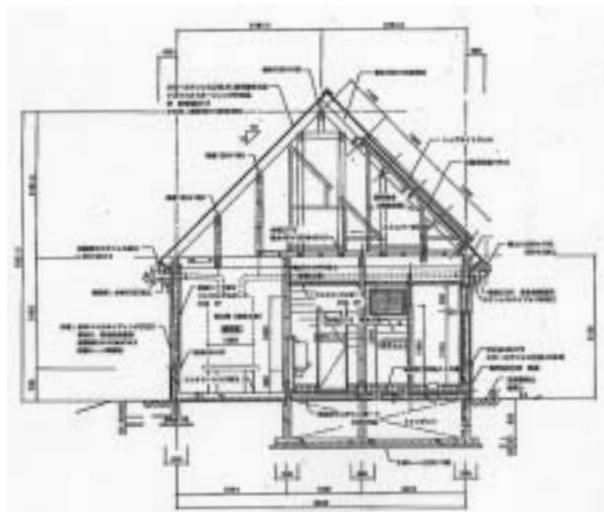


事例No.12

事業名	駒ヶ岳避難小屋整備事業	事例キーワード 太陽光発電、雨水の再利用
事業担当機関	発注：生活環境文化部、工事実施：建設交通部営繕課	
事業期間	平成12年度～平成13年度	
実施場所	十和田八幡平国立公園 仙北郡田沢湖町生保内字駒ヶ岳2-2	
事業概要	全体事業費	103百万円
	工事概要	木造1階建：34㎡、太陽電池モジュール：定格出力1.32kw、土壌式合併浄化槽80人層
	事業の目的	既設駒ヶ岳避難小屋は、厳しい自然条件にさらされ老朽化が激しく、また貯留腐敗式トイレは臭気に基づだ不快で利用者に不興であったため、避難小屋改築に併せてトイレ棟を新設し水洗化を行う。
の環境 内容配慮	1. 太陽光発電パネル（屋根面内側に設置）で土壌式合併浄化槽のポンプ、ブローの電源を発電している。 2. 水洗トイレの水源として屋根面雨水、さらに10ppm程度に浄化された処理水を中水として再利用している。	
の施工 状況後	トイレは冬期間使用しないため春の使用開始が懸念されていたが、順調に稼働しており、登山者に利用されている。	

図面、写真、説明



外 観



屋根面 太陽光発電パネル設置



内装 秋田杉活用